

充実した夏期休業を過ごすために

沖縄県立那覇高等学校 生徒指導部

2020年7月22日

1. 規則正しい生活・余暇の過ごし方について

- (1) 解放感から不規則になりやすいので、健全な日常のリズムを堅持するようにつとめよう。
- (2) 自らの計画に基づく学習に取り組む良い機会であり、家庭学習を効率的に進めよう。
- (3) 健全な精神の成長を促進するために、スポーツや自然に親しもう。
- (4) 家族との団欒の時間を確保できるように調整してみよう。
- (5) 読書に親しみ、豊かな心を育もう。また、ネット依存やネット被害には注意しよう。

2. 部活動について

- (1) 部活動は、部顧問と連携し計画を立て、効率的な活動で効果が上がるようにしよう。
- (2) 合宿練習を計画している部は、届け出を行うようにしよう。なお、施設設備の破損や他人の迷惑にならないように配慮し合い、活動しよう。
- (3) 安全面に気をつけ、自分自身の体調はもちろん、仲間の体調にも気づけるようにしよう。
- (4) 部活動中は水分補給を十分行い、熱中症予防を心がけよう。体育館内では、常に風通しを良くし換気に気をつけよう。また、グラウンドなどでは通気性の良い帽子を着用し活動しよう。

3. 交通安全について

- (1) 交通事故に巻き込まれないように、周りの様子に気を配るようにしよう。
- (2) 自転車運転は交通ルールやマナーを守り、加害者にも被害者にもならないよう注意しよう。
- (3) 学校休業中でも車やバイクによる登校、または試合応援や練習試合への参加は禁止です。
- (4) バイクによるツーリング等は危険を伴うので禁止とします。

4. 深夜徘徊について

多くの事件・事故は深夜に起きており、深夜徘徊は常に危険と隣り合わせである。午後10時以降の外出（深夜徘徊）は絶対にやめよう。

5. 不審者対応について

- (1) 外出の際には、どこへ、誰と、帰宅時刻を確認するよう保護者へ徹底し協力を図ろう。
- (2) 未成年者だけで遠出をしないようにしよう（ペンションなどへの宿泊、旅行等）。
- (3) 裏通りや人通りの少ない道を通らないようにしよう（危険回避能力）。
- (4) 「いかのおすし」を徹底しよう。

6. 水難事故防止について

- (1) 自分の健康状態をよく把握し、体調が良くないときは、海水浴に行くのはやめよう。
- (2) 友だち同士だけで海や河川などへ泳ぎに行かない（保護者や大人と一緒に行くこと）。
- (3) 遊泳禁止区域で泳がない。魚釣りなどは友だち同士で行かないようにしよう。
- (4) 海水浴に行くときは、家族に行き先、帰宅時間、同行者等を伝え、連絡を密にしよう。

7. 自然災害への対応について

- (1) 台風接近時には常に情報収集に努め、暴風警報及び大雨特別警報発表時には外出しない。
- (2) 大雨注意報発表時には、河川等で遊泳したり、近づかないようにする。
- (3) 落雷や竜巻注意情報に注意し、その際は外出を控える。
- (4) 地震発生時には、近くのテーブル等の下に避難し、そのあと安全な場所に避難する。
- (4) 津波発生時には、出来るだけ早く海岸から遠くへ避難し、学校の屋上や高台、ビルの屋上等高く安全と思われる場所に避難する。

困った時は一人で抱え込まず、信頼できる友人や大人に相談しよう。
危険回避能力でお互いに気づき、声を掛け合い、悲劇を未然に防止しよう。